

**製品名: IRTKS ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12762**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BAIAP2L1
別名	BAIAP2L1; IRTKS; Brain-specific angiogenesis inhibitor 1-associated protein 2-like protein 1; BAI1-associated protein 2-like protein 1; Insulin receptor tyrosine kinase substrate
遺伝子 ID	55971.0
SwissProt ID	Q9UHR4
免疫原	抗血清はヒト BAIAP2L1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

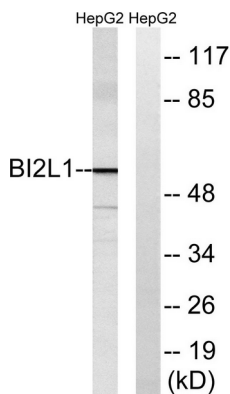
**背景**

この遺伝子は、IMD (IRSp53/MIM ホモロジドメイン) ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバー

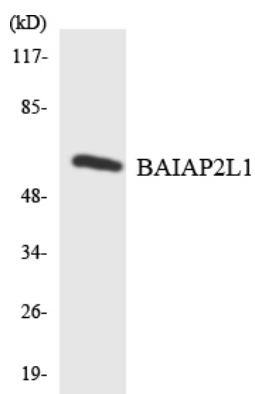
は、SH3 (Src ホモロジー 3) ドメインの有無に基づいて、IRSp53 類似体と MIM 類似体の 2 つのグループに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、N 末端に保存された IMD (F-アクチン束形成ドメインとも呼ばれる) と C 末端付近に標準的な SH3 ドメインを有するため、IRSp53 類似体グループに属します。このタンパク質はインスリン受容体チロシンキナーゼの基質であり、低分子 GTPase である Rac に結合します。細胞膜の変形とアクチン細胞骨格のリモデリングを結びつけるシグナル伝達経路に関与しています。哺乳類細胞で過剰発現するとアクチンの集合と膜突起の形成を促進し、腸管出血性大腸菌 (EHEC) のペDESTALFO ドメインにおける強力なアクチン集合複合体の形成に必須である。機能: アダプタータンパク質として機能する可能性がある (潜在的)。アクチン束のクラスター形成に関与する。PTM: インスリンに反応してチロシンがリン酸化される。類似性: 1 つの IMD (IRSp53/MIM 相同性) ドメインを含む。類似性: 1 つの SH3 ドメインを含む。サブユニット: RAC1 と相互作用する。F-アクチンに結合する。

## 研究分野

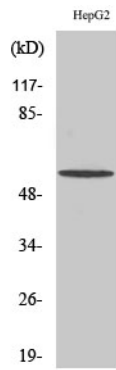
## 画像データ



BAIAP2L1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



BAIAP2L1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した IRTKS ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析